

## インドネシアにて PKS 燃料販売事業のための ストックパイルを拡張

～更なる安定的な燃料供給を実現、より多くの PKS 燃料ニーズに貢献します～

テスホールディングス株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：山本 一樹、以下「当社」）は、当社の連結子会社である PT INTERNATIONAL GREEN ENERGY（本社：インドネシア、以下「IGE 社」）において、インドネシア リアウ州に位置する Tanjung Buton（タンジュン・ブトン）のストックパイル（PKS<sup>※1</sup>燃料の保管倉庫・出荷拠点）の拡張工事が完了いたしましたので、お知らせいたします。



拡張工事が完了した Tanjung Buton ストックパイル

### ■PKS 燃料販売事業のためのストックパイルを拡張、更なる燃料の安定供給を実現いたします

当社グループでは、2020年より IGE 社において PKS 燃料を調達し、日本国内のバイオマス発電所に向けた PKS 燃料販売事業を展開しております。現在、Belawan（インドネシア 北スマトラ州）及び Tanjung Buton（インドネシア リアウ州）にストックパイルを設けており、2025年8月現在で累計約 58 万 t の PKS 燃料を出荷してまいりました。

今回、PKS 燃料の更なる安定供給を目的とし、Tanjung Buton ストックパイルの拡張を実施いたしました。拡張後のストックパイルにおいては、約 2.5 万 t の PKS 燃料を保管することが可能となり、更なる安定的な燃料供給の実現に加え、より多くの PKS 燃料に対するニーズに貢献いたします。

## ■今後の展望

当社グループが 2024 年 8 月に策定・公表した中期経営計画「TX2030」では、「資源循環型バイオマス燃料事業」を注力事業分野の 1 つと位置付けており、EFB<sup>\*2</sup>や PKS 等のパーム産業における農作物残渣の活用によりサーキュラーエコノミーの推進とストックビジネスの拡大を目指しております。

PKS 燃料については、2028 年 6 月期には PKS 燃料供給量 40 万 t/年（自社グループ向け：20 万 t/年、外部向け：20 万 t/年）を目指すこととしております。

今後も当社グループは、中期経営計画の達成を目指すと共に、IGE 社における PKS 燃料販売事業を通して、世界的なカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

### 〈ストックパイルの概要〉

所在地	インドネシア リアウ州 タンジュン・ブトン
敷地面積	約 6,870 m <sup>2</sup> （拡張工事前：約 4,500 m <sup>2</sup> ）
PKS 貯蔵量	約 25,000t（拡張工事前：約 17,000t）

※1 PKS（Palm Kernel Shell）：

パーム椰子の種からパーム油を搾油した後に残った椰子殻のこと。

※2 EFB（Empty Fruit Bunch）：

アブラヤシからパーム油を搾油する際の副産物（残渣）である椰子空果房のこと。

---

## ■本件に関するお問い合わせ先

テスホールディングス株式会社 広報・IR チーム

<https://www.tess-hd.co.jp/contact/>

※当社グループは、テレワーク・時差出勤を取り入れております。そのため、お電話での対応ができない場合がございますので、ホームページよりお問い合わせください。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。